



統計スポット情報

No. 73

15.4.30

福井県総務部情報政策課

よそさまは お金持ち.....

ことし1月に公表された平成14年7月期から9月期の家計調査による貯蓄現在高は、二人以上世帯の平均で1710万円でした。

「え～、わたしのところ、そんなに貯金あったかしら。よそのうちにはたくさんあるのね。」

そうおっしゃるのは無理もないことでしょう。これにはわけがあります。「貯蓄」には、預貯金だけでなく、生命保険や有価証券なども含まれているということ、世帯員の就業状態、年齢や人数などがさまざまであること、.....。

でも、いちばんの理由は、「平均値」が必ずしも全体を代表しているとはかぎらない、ということではないでしょうか。

下のグラフをごらんください。

塗りつぶされた部分が貯蓄現在高ごとの世帯数の構成比（左目盛）を、折れ線が世帯数の構成比の累計（右目盛）を表しています。

平均値となる1710万円の右側と左側の塗りつぶし部分の面積を比べてみてください。形がいびつで、左側の方がはるかに大きくなっています。おおよそ3分の2の世帯は、平均値を下回っているのがわかりますね。少数の高額貯蓄世帯が全体の平均値を持ち上げているのです。

ちなみに、金額の大きい（または小さい）順に並べたとき真ん中に当たる世帯の貯蓄現在高（この値を、中央値、中位数などといいます。）は1014万円で、平均値と比べると40パーセントも低い金額です。

すこしは、気が楽になりましたでしょうか。



